

# 医学用語あれこれ 7



浜口恵子

今回も前回に引き続き、場所に関する接頭辞を見てみましょう。

- epi : ~より上の、上の、次の、後の  
 supra, super : ~の上に、~を越えた、上部、過剰  
 sub : ~より下の、下方の、下  
 infra : ~より下の、~の下に、下部に、下  
 extra : 外の、外部の、以上、以外  
 intra : 内に、内部の

epi と supra/super はよく似た意味ですが、少しニュアンスが違います。supra と super はまったく同じ意味ですが、super はギリシア語の接頭辞 hyper に相当するものです。sub と infra もほとんど同義ですが、infra より sub の方が使用頻度は高いようです。sub はギリシア語の接頭辞 hypo に相当します。

epi はギリシア語源の言葉につき、それほど多くありません。epi/gastr/ic は胃より上の、epi/gastr/um は上胃部、胃窩部という意味になります。epi/gastr/algia は上腹部痛、心窩部痛です。ot/o は耳を表す連結形ですが、epi/ot/ic にすると耳上の、上耳のとなります。epi/spin/al は脊柱上の、脊髄上のを意味します。epi/splen/itis は脾臓より上の組織の炎症を表します。

cost/o は肋骨に関する連結形ですが、これに形容詞語尾 -al と接頭辞の supra をつけ、supra/cost/al にすると肋骨上のという語がつけられます。同様に、crani/o は頭蓋を意味する連結形ですが、supra/crani/al とすると頭蓋上の、頭部表面のとなります。骨盤を意味する pelv/o からは supra/pelv/ic 骨盤より上の、骨盤上の、恥骨を表す pub/o からは supra/pub/ic 恥骨より上の、恥骨上のという語ができます。genu は膝という

名詞ですが、super/genu/al とすると膝上方のとなります。

stern/o は胸骨を意味する連結形ですが、sub/stern/al とすると胸骨下のという語ができます。sub/cost/al は肋骨下の、sub/crani/al は頭蓋下の、sub/pub/ic は恥骨下の、sub/abdomin/al は腹腔下のという意味になります。

infra/stern/al、infra/cost/al、infra/pub/ic という語も上と同様胸骨下の、肋骨下の、恥骨下のを表します。

uter/o は子宮を指す連結形ですが、子宮のを意味する形容詞形は uterine です。これに extra をつけて extra/uterine にすると子宮外のという意味になります。cyst/o は膀胱、嚢胞を表す連結形ですが、extra/cyst/ic は膀胱外のを表します。硬膜 dura を硬膜の dur/al という形容詞形にして接頭辞の extra をつけて extra/dur/al とすると硬膜外のとなります。extra/hepat/ic は肝臓外のです。

arteri/o は動脈を指す連結形ですが、intra/arteri/al にすると動脈内のという形容詞になります。intra はこれ以上分解できない1つの語ですので、intra の後に母音が続いても最後の母音 "a" を落とすことはできません。そこでこのように2つの似た母音が続く場合は、通常、ハイフン "-" を使って2つの語をつなぎます。

ven/o は静脈を表す連結形でしたので、intra/ven/ous は静脈内の、さらに intra/spin/al は脊髄内の、intra/lumb/ar は腰内の、intra/crani/al は頭蓋内の、intra/derm/al は皮内の、intra/thorac/ic は胸内のとなります。

この他にもまだまだたくさんあり、辞書を見ているとなるほどと思うことも多く、なかなかおもしろいものです。みなさんにも一度じっくり辞書をご覧になることをお勧めします。